

SDS試験が公益社団法人発明協会より発明奨励賞を受賞 ～ 低コストで土質判別が可能な調査方法であることが評価 ～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社(所在地:東京都墨田区、代表取締役社長:斉藤武司、以下 JHS)が開発に携わったスクレードライバーサウンディング試験(以下、SDS 試験)が公益社団法人発明協会より発明奨励賞を受賞しました。

公益社団法人発明協会は、1904年の設立以降、発明の奨励、次代を担う人材の育成、知的財産権制度の普及啓発を通じ、我が国の科学技術の進展と産業経済の発展に尽くすことを目的とした公益事業を展開しています。

「発明奨励賞」は同会が1921年に開始した表彰事業で、実施されている優れた発明、考案又は意匠を生み出した技術者・研究開発者を顕彰するものです。



<授与式出席者: 写真左側より、関口和富((有)埼玉土質試験所)
大和真一(ジャパンホームシールド(株))、末政直晃(東京都市大学)、田中剛(東京都市大学)、敬称略>

SDS 試験法は地盤調査・解析 170 万棟の実績を持つ JHS が地盤事故ゼロを目指して開発に携わった地盤調査方法で、2010 年の提供開始以来、同試験を用いた地盤調査数は累計 40 万棟に達しています。また一般財団法人ベターリビングより「建設技術審査証明」を取得し、公益社団法人地盤工学会の地盤工学会賞(技術開発賞)を受賞するなど、第三者機関からその精度等について高い評価を得ています。

今回の授賞理由は現在普及しているスウェーデン式サウンディング試験(以下、SWS 試験方法)では解析できなかった土質判別(砂と砂以外)が可能であり、SWS 試験方法とほぼ同価格で調査出来る点が高く評価されました。

ジャパンホームシールドは今後も、優れた地盤調査・対策技術を通じて、安全・安心な住まいづくりに貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社(<https://www.j-shield.co.jp/>)

本社:東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から : 広報マーケティング部 児新(コニイ) TEL. 03-5624-1545

※ジャパンホームシールドのホームページ(URL: <https://www.j-shield.co.jp/>)でも発表しています。
<ジャパンホームシールドは LIXIL グループの一員です>

<参考資料>

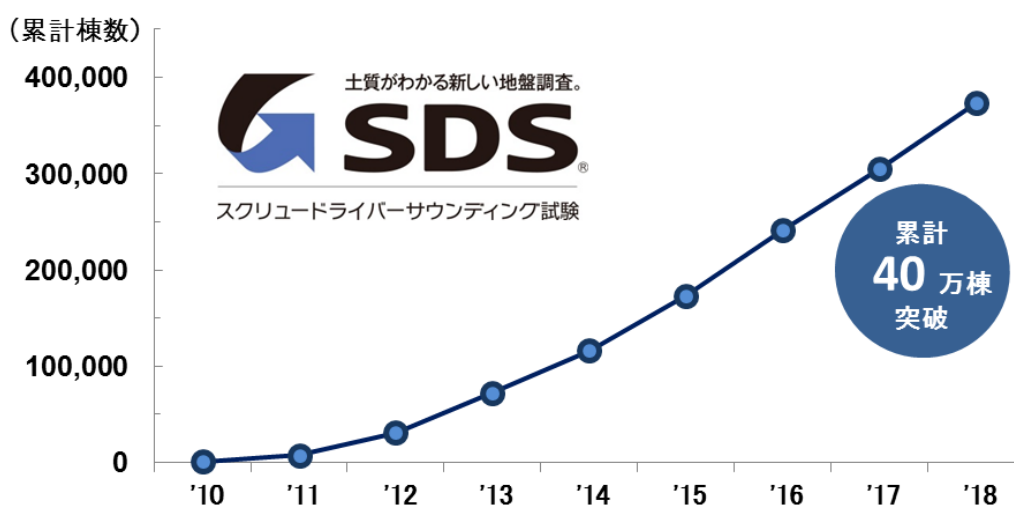
■発明奨励賞の概要

受賞名： 「地盤調査方法」

受賞者名： 末政直晃(東京都市大学)、田中剛(東京都市大学)、大和眞一(ジャパンホームシールド株式会社)、関口和富(有限会社埼玉土質試験所)

授賞理由： 本技術は、現在普及しているスウェーデン式サウンディング試験(以下、SWS 試験方法)では解析できなかった土質判別(砂と砂以外)が可能であり、SWS 試験方法とほぼ同価格で調査出来る点が高く評価。

■SDS 試験調査棟数の推移



■SDS 試験の歩み

2006年 6月	東京都市大学、日東精工(株)と共同研究を開始
2010年 10月	SDS 試験のサービス提供を開始
2011年 2月	「SDS 試験装置」で(一財)ベターリビングより「建築技術審査証明」取得 (BL 審査証明-008)
2013年 7月	ニュージーランド・オークランド大学と共同研究を開始
2013年 12月	「SDS 試験による地盤調査結果の活用技術」で(一財)ベターリビングより「建設技術審査証明」取得 (BL 審査証明-011)
2016年 5月	タイ・カセサート大学と共同研究を開始
2017年 2月	「SDS 試験を用いた平板載荷試験結果による q_t の推定方法」で(一財)ベターリビングより「建設技術審査証明」取得 (BL 審査証明-027)
2017年 3月	マレーシア工科大学と共同研究を開始
2018年 3月	SDS 試験調査実績 30 万棟突破
2018年 6月	地盤工学会賞(技術開発賞)を受賞
2019年 8月	SDS 試験調査実績 40 万棟突破